

カワウの保護管理に係る研修会 報告

<研修会について>

過去には2泊3日で毎年開催場所を変えながら開催し、講義のほか、現地視察や、ねぐらでの個体数調査の実習、胃内容分析の実習、管理計画作成の実習などを組み入れていた。

新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、2020年度からオンラインに変更し、主に講義中心の構成になった。参加者へのアンケートをもとに毎年改善して開催している。

2020年度

開催時期・回数： 11-12月 隔週で2回開催
 講義時間・講師数： 1回あたり1時間半 講師各1名 ※環境省・水産庁講義除く
 参加者数： 77名（都道府県45名、市町村32名） ※申込者数ベース

2021年度

開催時期・回数： 10-11月 隔週で2回開催
 講義時間・講師数： 基礎編3時間 講師4名／応用編2時間 講師2名 ※環境省・水産庁講義除く
 対話型講義（講師との個別事例意見交換）約1時間
 参加者数： 160名（都道府県68名、市町村84名、国8名） ※申込者数ベース

2022年度

開催時期・回数： 6月 2週連続で2回開催
 講義時間・講師数： 基礎編約2時間15分 講師2名 ※環境省・水産庁講義除く
 応用編約2時間45分 講師3名
 参加者数： 206名（都道府県100名、市町村102名、国4名） ※申込者数ベース

2023年度

開催時期・回数： 6月 2週連続で2回開催
 講義時間・講師数： 基礎編約2時間15分 講師1名 ※環境省・水産庁講義除く
 応用編約2時間45分 講師3名
 参加者数： 233名（都道府県93名、市町村120名、国20名） ※申込者数ベース

2024年度

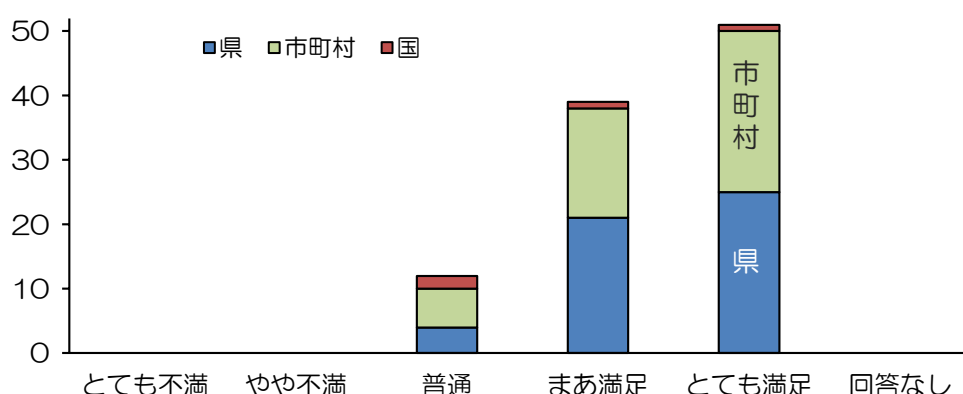
開催時期・回数： 6-7月 2週連続で2回開催
 講義時間・講師数： 基礎編約2時間15分 講師2名 ※環境省・水産庁講義除く
 応用編約2時間45分 講師3名
 参加者数： 257名（都道府県129名、市町村120名、国8名） ※申込者数ベース

<2024年度の結果について>

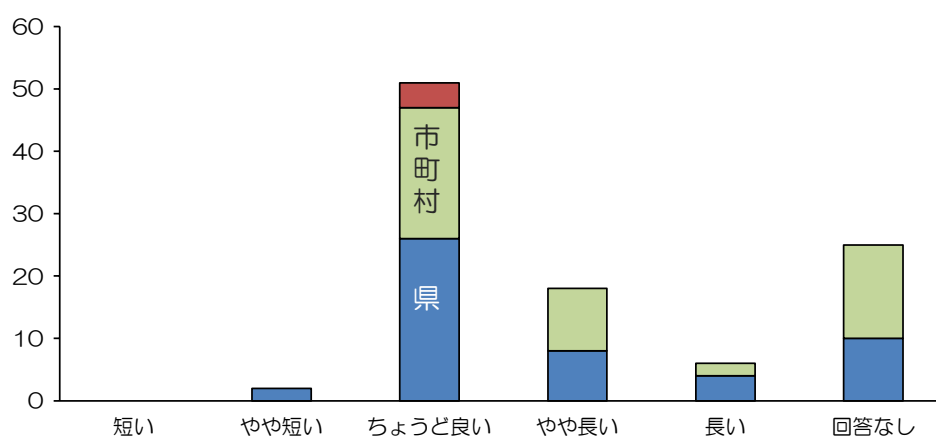
■研修会のアンケート結果まとめ

- ・ 講義の内容、オンラインによる受講については例年同様、非常に好評であった。各講義については、選択式の回答でもとても満足したと回答する参加者が多かったが、それだけでなく、コメントでも内容を評価する意見が多数あった。

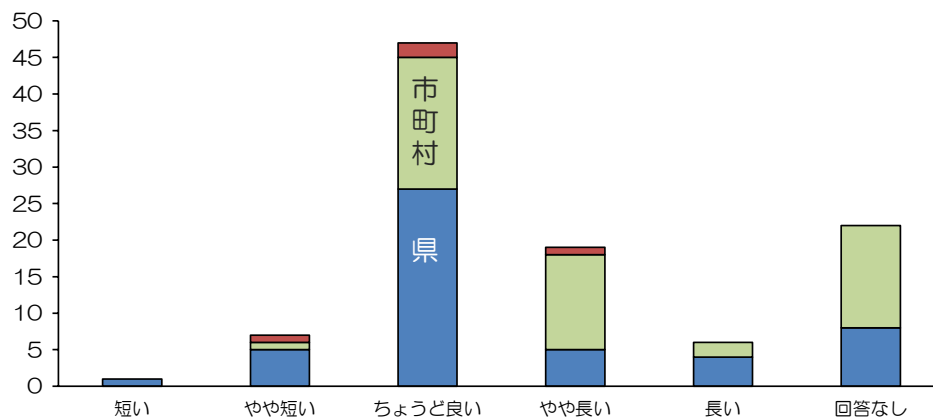
- ・ わかりやすく為になった、実際の対策に活用できそうだったといった意見が多かった。
- ・ 基礎編と応用編に分けた構成が良かったとする意見が多数あり、行政担当者の異動踏まえて同じ内容でも毎年開催して欲しいという意見があった。また、異動で引き継ぎがうまくできない時や、知識が少ない担当者が就いた際に研修会が役に立つという意見があった。
- ・ 講師陣のチームワークが良く質問がしやすい空気があることを評価する意見があった。多数の質問が出されていたので、講義時間終了後も質疑を受け付けたことを評価する意見があり、その時間も含めて最初から質疑の時間を長く取ったプログラムでも良いのではないかという意見があった。チャット形式の質疑は好評だが、講師がチャットで回答してしまっていたこと、Zoomのチャット欄が階層構造を持つようにシステムの変更があったこともあって、チャット欄が見づらい状況になっていた（質問は事務局が口頭で拾い、口頭での回答をしていたので見づらい部分はある程度フォローできていた）。
- ・ 研修の長さについては、やや長いと感じる参加者が一定数おり、複数日に分けて1日の講義時間を短くして欲しいという要望があったほか、休憩時間を細かく入れているプログラム構成を評価する意見があった。
- ・ 開催日に他の農林水産省の研修会が重なっていたことがあり日程調整の要望があったほか、同じ研修を複数回開催して欲しい、録画の再放送を時間等を限定して実施して欲しいといった要望もあった。
- ・ カワウ以外の鳥類（カラス、サギ、ドバト、スズメ、ヒヨドリ、カモ類）の対策についてや、鳥インフルエンザについての講義をして欲しいという要望があった。



オンラインによる受講への回答



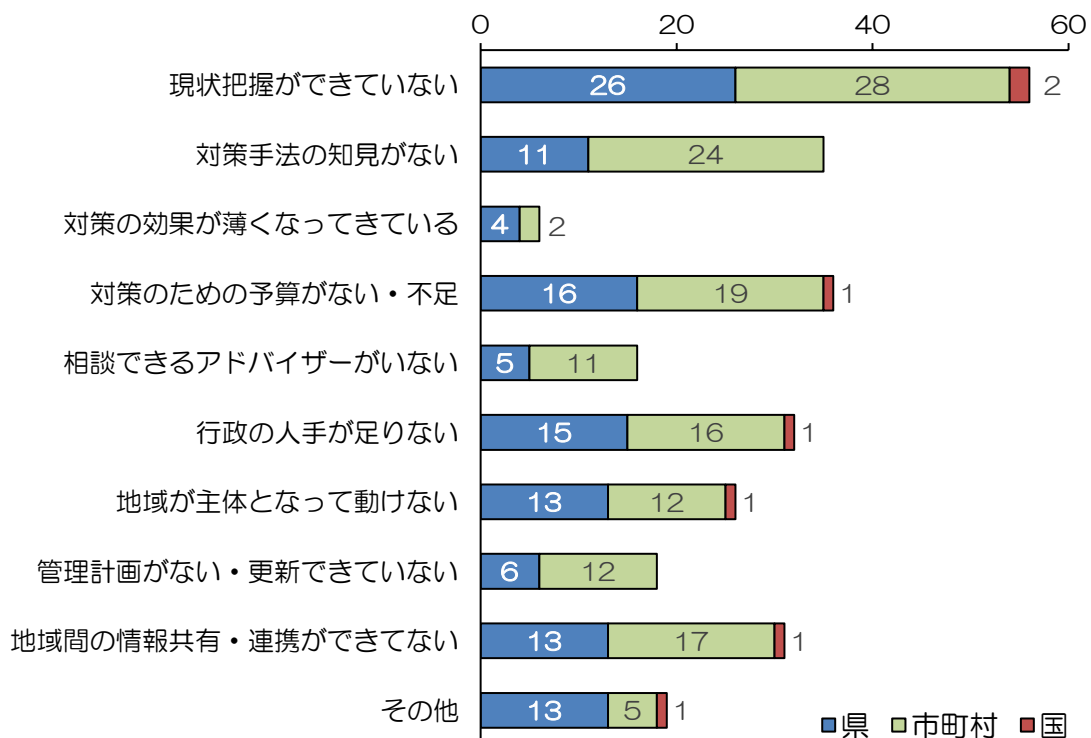
基礎編研修会の長さ(2.25 時間)への回答



応用編研修会の長さ(2.75 時間)への回答

■カワウ対策の課題についての選択項目アンケートの結果

カワウ対策の課題については、選択項目を提示し該当する項目にチェックしてもらう形式で回答を得た。選択項目にない課題については、その他として記述により回答を得た。最も多く選択された項目は「現状把握ができていない」であった。この他、「対策手法の知見がない」、「対策のための予算がない・不足」、「行政の人手がたりない」、「地域間の情報共有・連携ができていない」が多く選択された。



【参考】特定鳥獣（カワウ）の保護管理に係る研修会プログラム

・基礎編講義 -----

13:50	接続受付開始
14:00-14:05	開会あいさつ
14:05-14:20	講義「鳥獣保護管理の法制度等」 環境省鳥獣保護管理室
14:20-14:35	講義「カワウ被害対策の進め方と水産庁事業について」 水産庁栽培養殖課
14:35-14:40	休憩
14:40-15:25	講義「カワウの生態とモニタリング調査」 講師：加藤ななえ（鳥獣保護管理プランナー）
15:25-15:30	休憩
15:30-15:50	講義「カワウの生息状況と季節移動」 講師：高木憲太郎（バードリサーチ）
15:50-16:15	質疑
16:15	閉会

・応用編講義 -----

13:50	接続受付開始
14:00-14:45	講義「鵜的フェーズと管理計画の作成」 講師：山本麻希（長岡技術科学大学）
14:45-14:50	休憩
14:50-15:35	講義「内水面における被害防除対策の実際」 講師：坪井潤一（水産技術研究所）
15:35-15:40	休憩
15:40-16:25	講義「個体数調整をすべき状況の判断と実際」 講師：須藤明子（イーグレット・オフィス）
16:25-16:45	質疑
16:45	閉会